



学校だより

ひびき 8・9月号

令和5年8月28日

昭和54年3月3日制定

横浜市立獅子ヶ谷小学校

## 今年の夏は(も)暑かったです

校長 大塩 啓介

夏休みも終わり、児童の声が学校にこだまするようになりました。真っ黒に日焼けした子どもたちが、夏の思い出をいっぱい持って、学校に戻ってきてくれました。

それにしても今年の夏は地球温暖化の影響をととも感じる夏でした。台風が沖縄県周辺を行ったり来たりしたかと思ったら、反対に動き出し、最終的には紀伊半島に上陸、鳥取県には大きな被害を与えていきました。雨がたくさん降ったと思えば、新潟県では深刻な水不足となっています。関東でもお盆前ぐらいには天気が安定せず、雨がよく降りました。

私は、ちょうど法事があったので、お盆前から青森に行っていました。青森県の白神山地のふもとあたりです。いつもであれば夏は涼しく、基本的にエアコンいらずの場所です。ところが今年は、日中は横浜よりも気温が上がる日が多く、エアコンを使わなければとても過ごすことができないぐらいでした。基本的には台風の通過によるフェーン現象によるものですが、台風が遠ざかった後も暑さはおさまらず、地球温暖化の深刻さを感じました。

獅子ヶ谷小学校の放課後キッズでは、人数が増えてきたこともあり、児童が場所をもっと広く使えるように、区役所をお願いして廊下にもエアコンを入れてもらうことにしています。

また、夏休み中の公園で、児童の姿が見られないところもありました。今までであればどんなに暑くても、雨さえ降らなければ児童が元気に遊ぶ姿がありましたが、この暑さと熱中症への心配から、外には出ないと判断したところが多かったのではないのでしょうか。

本校では、お伝えしているように今年度は、9月に水泳学習行います。6月7月に水泳を実施した学校では、暑すぎて実施できなかった日もあったと聞いています。暑いから水泳学習を行えるのですが、水泳学習中でも今は熱中症に気をつけなければいけない時代となっています。コロナ禍を経て、児童の体力が落ちていることも一つの要因として考えられていますが、それを差し引いても、危険な暑さであると感じています。

学校としては児童が安心・安全に学習に取り組めるよう、空調や衛生管理、水分補給など、十分注意してまいります。ご家庭におかれましても、この暑さをこれまでとは違うと捉え、睡眠、食事など、児童の健康状況にご配慮いただきますようお願いいたします。体調がすぐれない時には、決して無理をさせないようにしてください。

どうぞ、よろしくをお願いいたします。